

氷河生態系

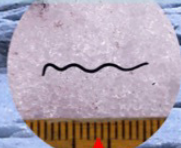


イルカの眠りかた

ヒョウガユスリカ
(ヒマラヤ)



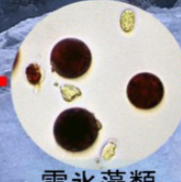
コオリミズ
(アラスカ)



無翅カワゲラ
(パタゴニア)



雪氷藻類



マレーバク



オランウータン



目の形態

西表研究施設公開講座

世界の野生動物をフィールドワークする：

ヒマラヤから海中まで、氷河から熱帯雨林まで

幸島 司郎先生（京大野生動物研究センター・教授）

京都大学野生動物研究センターは、絶滅が危惧されている大型動物の保全研究を主な目的として2008年に設立されました。世界各地でゾウやイルカなど様々な野生動物を研究しています。氷河の雪や氷の中で生きる奇妙な昆虫の発見に始まり、氷河の微生物が地球環境に及ぼす影響や、イルカの眠り方、ヒトやサルやオオカミの目の研究を経て、アマゾンでの「フィールドミュージアム」プロジェクトに至る、私のちょっと変わった研究遍歴をご紹介します。センターの研究活動についてお話しします。

日時：令和元年10月16日（水）19:00～

会場：琉球大学熱生研西表研究施設講義室



入場無料・事前申し込み不要

- ・座席数には限りがあります（40席を予定）。
- ・開始5分前までにご入場下さい。
- ・問い合わせ先：西表研究施設事務室

Tel 0980-85-6560 <http://nesseiken.info>

